

## ■額装について■

毎年、原画が生で露出しているパネルなどを出品される方が多いですが、気をつけていても搬入や宅配の間に表面が傷つく可能性は高いので、必ず保護するようにしてください。

一般的なのは額装ですね。

イラストでバリバリお仕事をされている方でも、展示会をしたことがないというのは珍しいことではありません。

高名なイラストレーターでも晩年になって初めて個展を開いたという話も良く聞きます。

慣れていないとよくわからないであろう額装について説明します。

額縁にはいろいろな種類がありますが、イラストレーターの展示用としては水彩額かポスターフレームなどがあります。またはパネルにする等ですね。

油彩専門で扱っているのではない額屋さんや大型画材屋の額売り場で相談しましょう。それほど高いものではありません。また大きくなるほど割安になります。

(面積が二倍だから料金も二倍似るわけではなくそれよりはずっと安いということです)

ポスターフレームは額屋さん、大型画材屋の額売り場にもたいていあると思いますが、デザイン関係の用具を売ってるお店にもあるかもです。デパートの額装は高いだけです。

一般的に額装する場合は絵の前面にマットを入れます。

額屋さんで絵に合わせてカットしてくれます。

色や肌合いなども絵に合わせて選べます。額装したい絵を持って行って、予算と絵に合う額とマットを選べば後はやってくれます。

マットの絵を囲う窓の部分は 45 度の角度でカットされていますので、自分でカッターでカットしないで頼みましょう。

マット代にカット代も含まれています。



▲ 水彩額

▼ ポスターフレーム



また、昨年の例ですが、キャンバス等のパネルにしたものを、奥行きのある額に入れる方法もあります。

額装などのある程度の重さのあるモノを展示する場合、必ずフレームの裏にヒモをつけてください。

普通に購入したものなら必ずついているはずです。

ついていないタイプのフレームや、自作した場合は必ず後ろにヒモをつけてください。

額専用のヒモが安価に売っていますのでそれを用いると良いでしょう。

ヒモの留め具もちゃんとしたモノを使ってください。

それも安価に売っています。

時々釘を打っただけだったり、だるまピンで止めてあるだけの人がいますが、簡単に外れてしまったり壁を傷つけますので困ります。

難しいことではないので、きちんとお願いします。

ヒモをつける位置は、上下の長さの上から3分の1の位置が適切です。

フレームの最上部についているタイプのモノがありますが、その場合はそのままでもかまいません。

